

4 これまでの成果と課題

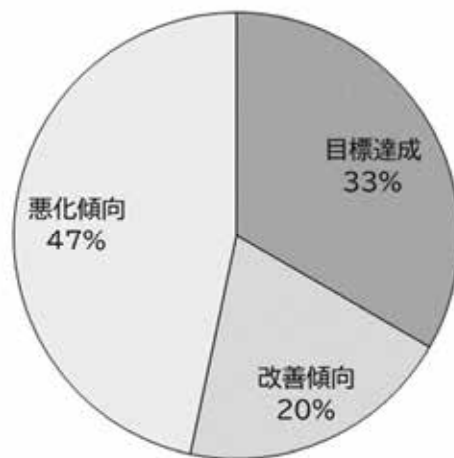
(1) 全体評価

前計画では、「生涯にわたり健康に暮らすことができ、安心して医療を受けられるまち」を基本理念に、健康都市「かめやま」の実現に向け、「健康な暮らしの支援」、「疾病予防と早期発見・治療の推進」、「地域医療提供体制の整備」、「食育の推進」の4つの基本戦略を設定し、健康づくりから医療分野における施策に総合的に取り組んできました。

計画の基本理念（めざす姿）の実現に向けて着実な推進を目指すため、前計画では、施策大綱に係る数値等目標を設定しました。

評価にあたっては、現時点で目標年度である令和4年度の値を把握できないことから、各指標における実績値については令和3年度の実績値を使用し、比較しています。

定めた指標の推移を見ると、「目標達成」又は「改善傾向」となっている指標が全体の5割を超えており、健康づくりに向けた施策の効果や市民一人ひとりの健康づくりへの意識が高まっています。一方、目標を達成していない指標もあったため、次期計画では、各施策の課題を分析し、目標達成に向けた更なる取り組みが必要と考えます。



【前計画の達成状況】

(2) 各施策の達成状況

ここでは、施策大綱（基本戦略）毎に、取り組み状況と成果指標の達成状況の総括を示しています。

施策大綱 | 健康な暮らしの支援

『施策大綱 | 健康な暮らしの支援』では、健康都市「かめやま」の実現を目指して、市民の自主的な健康づくり活動の習慣化に向けた健康マイレージ事業などに取り組みました。

また、歯と口腔の健康づくりとして、亀山歯科医師会協力のもと、歯周病検診事業を実施し、生涯を通じたお口の健康づくりに取り組みました。

さらに、地域の感染症の流行を予防するため、予防接種の推進に取り組み、亀山医師会と連携し、市民の健康な暮らしの支援につなげました。

一方、新型コロナウイルス感染症の出現に伴い、新しい生活様式の定着が進むとともに、コロナ禍からポストコロナ時代へとステージが変化する中、ワクチン接種やコールセンターの設置など、市民の安心感につながる対策を進めてきました。

このような中で、市民の健康に対する意識も変化し、高まりを見せており、こうした機会を捉えて、市民一人ひとりが自分の健康課題を認識し、自主的な健康づくり活動につながる取り組みが求められます。

【施策の方向】

- ①健康づくりによる健康都市「かめやま」の実現
- ②歯と口腔の健康づくりの推進
- ③感染症の予防、予防接種の推進

【成果指標の達成状況】

指標	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和3年度)	令和3年度末	達成状況
健康づくり応援隊養成講座修了者数				
(延人数)	99	250	284	○目標達成
医療カフェ開催回数				
(回)	1	12	0	↓悪化傾向
歯周病検診受診率(30・40歳)				
(%)	12.0	15.0	10.7	↓悪化傾向
MR(麻しん・風しん混合ワクチン)Ⅱ期				
接種率(%)	97.4	現状維持	97.8	○目標達成

施策大綱 2 疾病予防と早期発見・治療の推進

『施策大綱2 疾病予防と早期発見・治療の推進』では、疾病の早期発見・早期治療のための健(検)診の推進などに取り組みました。

本市の健(検)診受診率については、全国、三重県と比較すると受診率が高いものもあるものの、国の推奨する目標値には到達していません。今後、受診率向上に向けた工夫が必要です。

一方、自殺対策基本法の改正(平成28年4月)により、市町村自殺対策計画の策定が求められることとなりました。本市では、以前からこころの健康づくりとして自殺対策に取り組んできましたが、毎年自ら命を絶ち亡くなっている方がいるという厳しい現状があり、現状の取り組みを整理し、引き続きこころの健康を守る取り組みが求められます。

【施策の方向】

- ①健(検)診の推進、生活習慣病の予防・介護予防の推進
- ②こころの健康づくり(自殺対策)

【成果指標の達成状況】

指標	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和3年度)	令和3年度末	達成状況
がん検診の受診率				
肺がん(%)	33.2	35.0	32.0	↓悪化傾向
胃がん(%)	21.8	25.0	17.5	↓悪化傾向
大腸がん(%)	32.9	35.0	29.9	↓悪化傾向
特定健診の受診率				
(%)	37.1	65.0	37.3	↑改善傾向
特定保健指導の実施率				
(%)	20.4	60.0	27.8	↑改善傾向

施策大綱 3 地域医療提供体制の整備

『施策大綱3 地域医療提供体制の整備』では、亀山医師会や市立医療センターなどの関係機関と連携を図りながら、市民の安心できる地域医療体制の確保に取り組みました。

本市では、病院や施設で死亡する人の割合が高く、在宅医療の必要性が高いと考え、在宅医療推進体制の強化に取り組み、亀山医師会と連携したかめやまホームケアネット新規利用者数は大きく増加しました。これまで以上に、幅広く医療ニーズの在宅療養者が増加することが考えられ、多様なニーズに対応できる質の向上が求められます。

一方、市立医療センターにおいては、地域包括ケア病床の導入と増床、訪問看護ステーションの設置、敷地内への院外薬局の誘致など、地域の医療のニーズに柔軟に対応するとともに、新公立病院改革プランを推進し、経営の健全化に努めてきました。その結果、医業収支比率においては改善傾向となっています。

また、高齢化の進展等により救急需要が増加傾向にある中、救急搬送の市内医療機関の受入率の維持と救急車の適正利用の啓発にも取り組んできましたが、市内医療機関の受入率は低下しています。今後、市内医療機関とのさらなる連携強化に努める必要があります。

【施策の方向】

- ①多職種連携による地域包括ケアシステムの強化・充実
- ②救急医療体制の充実
- ③地域医療の確保と医療センターの経営健全化

【成果指標の達成状況】

指標	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和3年度)	令和3年度末	達成状況
訪問看護ステーション数				
市内(施設)	5	6	6	○目標達成
かめやまホームケアネットにおける在宅医療を実施する市内医療機関数				
(機関数)	9	15	6	↓悪化傾向
かめやまホームケアネット新規利用者				
(人)	19	25	42	○目標達成
救急搬送の市内医療機関受入率				
(%)	50.2	50.0以上	35.6	↓悪化傾向
医療センター(財務)医業収支比率(医業収益/医業費用)				
医業収益÷医業費用(%)	77.6	99.8	89.0	↑改善傾向

施策大綱 4 食育の推進

『施策大綱4 食育の推進』では、食生活改善推進協議会等関係団体と連携し、食生活の改善や食文化の継承、共食の推進に取り組み、食事や運動を通して、市民の健康づくりに取り組みました。

また、学校活動等の場において、地産地消や食文化について啓発することで、地域の消費者と生産者の相互理解や信頼関係の構築、および日本の食文化の継承に取り組みました。

一方、核家族や単独世帯が増加するなど、家族構成などの家庭環境の変化から、孤食などの問題も増加しており、多様なライフスタイルに対応した食育の推進や、食を通じた健康づくりへの一層の支援が求められています。

【施策の方向】

- ①栄養・食生活の改善
- ②次世代に伝える食文化
- ③共食の推進

【成果指標の達成状況】

指標	現状値 (平成27年度)	目標値 (令和3年度)	令和3年度末	達成状況
学校給食における地場産品を使用する割合				
三重県産＋市内産の食材使用割合、食材数ベース(%)	31.2	38.0	29.7	↓悪化傾向